

ここが聞きたい!!

5名が登壇

下水道整備の現状と将来計画は！

布村和男議員

問 公共下水道の整備については、旧町への対応の違いから、地域によって整備状況の格差が生じている。周防大島町総合計画の中で、下水道整備は、町づくりや環境保全において必要不可欠であり、地域の実情を踏まえた整備計画を策定するとあるが、現在までの整備状況と将来計画について問う。



答 (町長) 整備状況については、平成21年3月末で公共下水1地区、農業集落排水5地区、漁業集落排水1地区が整備済みで、

現在、公共下水1地区、農業集落排水1地区が整備中である。町内の水洗化率は浄化槽を含め43%となっており、旧町単位では、大島地区が37.2%、久賀地区が26.9%、橘地区が60.2%、東和地区が46.2%となっている。

今後の整備計画については、現在事業を実施中の地域や新規整備計画地域・計画人口の再検討をし、さらに合併浄化槽を含めた汚水処理施設整備構想全体の見直しを今年度中に行う予定である。将来の下水道整備計画はこの見直しが終了次第提示できるものと考えている。



日良居浄化センター

町政転流 (13) 医療福祉の更なる充実・発展に向かって!

この度、6月1日付けで町長より公営企業局管理者として石原得博氏が任命された。本議会での就任の挨拶、その一部を紹介したい。

地域住民によってつくられた自治体病院は、その地域に不足している医療に積極的に取り組むとともに、地域の医療機関や行政機関等との連携を図りながら、公平・公正な医療を提供し、地域住民の健康の維持・増進を図り、地域の発展に貢献することを使命としています。具体的に 地域医療の確保 (特に医師や看護師の確保) 医療水準の向上、患者様中心の医療の確保、安全管理の徹底、健全経営の確保、の5項目を理念として今後の運営に誠心誠意努めて参ります。周防大島町においては公営企業局が永年行ってきた3病院 (東和・橘・大島) 2老健 (さざなみ・やすらぎ) 大島看護専門学校、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所の体制を

維持することが最も重要だと考えています。皆様的一方ならぬご指導とご協力をお願いします。

また「公営企業局改革プラン」においても本町は東西に長く1病院に統合が難しい条件である。たとえば整形外科は東和病院、眼科は橘病院、皮膚科は大島病院というように、それぞれ診療科に独自性を保たせ3病院での総合病院化を目指してきた。また患者様の利便性を図るうえでの無料の患者送迎車を運行している。このような状況下では、今後も高齢化率の高い当地において急性期並びに慢性期を軸とした診療体制を確保の上、3病院を継続していく考えであると方向性は変わらないことを明記している。

管理者においては、医師としてのこれまでの経験と実績を発揮して頂き本町の医療福祉の更なる充実・発展に大きく期待するところです。(尾元)

